

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院COVID19対策チームでは、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身やご家族等がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「ご自身やご家族等の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。この研究では、亡くなられた方の診療情報も、貴重な情報として、研究対象として扱わせていただきます。

【対象となる方】

調査対象となる期間：2020年4月1日～2022年3月31日の間に、虎の門病院または虎の門病院分院において入院し、COVID19の治療を受けられた患者さん

【研究課題名】

COVID19における重症化予測因子としての肝障害と異型リンパ球に対する後方視的研究

【研究の目的・背景】

《目的》

COVID19の重症化予測に有用な因子として肝機能障害、異型リンパ球を後方視的に解析します。

《研究に至る背景》

COVID19の重症化因子はこの感染症が発生した当初からさまざまな議論がなされてきました。その中の一つの重症化因子として、肝機能障害も従来より報告されてきました。また、小児では原因不明の劇症肝炎がCOVID19が原因ではないかと疑う既報もあり、COVID19に伴う肝機能障害を後方視的に分析することには意義があります。また異型リンパ球についても同時に解析を行う予定です。本研究ではこれら因子の重症化因子としての有効性を検討し、評価していきます。

【研究のために診療情報を解析研究する期間】

2023年 3 月 1 日 ～ 2025年 12 月 31 日

【単独／共同研究の別】

虎の門病院単独研究

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は虎の門病院血液内科 山本久史のもと研究終了後 5 年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【利用する診療情報】

年齢、性別、入院期間、COVID19重症度、COVID19重症化因子、飲酒歴、既往歴、異型リンパ球発現の有無、AST、ALT、LD、ALP、 γ GT、Alb、PT、T-bil

【虎の門病院における研究責任者】

血液内科 山本 久史

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身やご家族等の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身やご家族等の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2024年3月31日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 血液内科 山本 久史

電話 03-3588-1111(代表)